



## 学校法人大原学園 府中ひばり幼稚園 令和6年度すくわくプログラム活動報告

「とうきょうすくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムです。幼稚園や保育所といった施設タイプの垣根を越え、主体的・協働的な探究活動を通じ、子供の豊かな心の育ちをサポートします。府中ひばり幼稚園の令和6年度の取り組みをご報告します。

テーマ	いろいろな音	英語あそび	体操あそび
テーマのねらい	かねてより音楽教育には園として積極的に取り組んでおり、子供たちも入園してから音楽には親しんでいる土壌があるため、さらに音楽への興味関心を高め豊かな感受性を育む	ネイティブスピーカーの講師によるレッスンでより英語への興味関心を深め、英語圏の文化にも理解と親しみを持てるようにする	身体の発育に合わせて運動能力や筋力を高め、楽しく遊びながら技術やルールを習得し、ボールを使った集団遊びでコミュニケーションの取り方や協調性を培う
活動スケジュール	<p>7/5 ヴァイオリニストとピアニストを招いての七夕コンサートを開催 園児のヴァイオリン演奏体験やピアノに合わせて園歌を合唱した リトミック専門講師による各学年週1回のレッスンを実施 運動会での発表に向けて楽器毎のグループ練習、マーチング練習等 10/19 運動会開催、鼓笛隊で「聖者の行進」を披露 11/5 歌い手・ピアノ、マリンバ演奏家を招いてうたとマリンバコンサートを開催 サンパのリズム遊びを体験しコンサートに全員で参加した リトミック専門講師の楽器別の合奏指導、グループ自主練習等 12/7 お遊戯音楽会にて合奏を披露</p>  	<p>週1回のネイティブスピーカーによる英語レッスンを実施 10/13 文化センターでの地域文化祭のハロウィン制作の作品展示</p>  	<p>週1回の体操専門講師による体操指導 7月 運動会演目のバラバルーン指導のため年中組担任のバラバルーン講習への参加 年中組は器械運動の他、2学期よりバラバルーン練習を開始 年長組は運動会に向けてリズム体操の練習を開始 専門講師の指導の他、運動会の種目リレーのチーム決め、チーム練習 10/19 運動会にて各学年が日ごろの成果を披露 10月以降はボール運動の指導 年長組ドッジボール大会開催</p> 
探究活動の実践	<p>鼓笛隊のための楽器の用意 ・ピアニカ、ベルリラ、キーボード、大太鼓、シンバル、マーチンググロックン、ベル、カラーガード、衣装（ベレー帽、ベスト、スカート、ズボン、シャツ） 合奏のための楽器の用意 ・ピアニカ、カスタネット、すず、タンバリン、キーボード、トライアングル、ウッドブロック、大太鼓、中太鼓、木琴、鉄琴、ハンドベル、シンバル ・始めて触る楽器にわくわくしている子どもの興味をのばせるよう前向きな声掛けを行った</p> <p>活動のために準備した素材や道具、環境の設定 活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり</p>	<p>準備物 ・保育室を広く使えるよう机・椅子を端に寄せて活動場所を準備した ・ハロウィン制作の材料として画用紙、色画用紙、絵の具、絵筆、ストロー、毛糸、タコ糸 子ども達の様子 ネイティブスピーカーの英語講師の話す言葉を聞き取ろうと真剣に耳を傾ける様子が見られた。日本語との発音の違いに気づき、自分でも英語っぽい発声ができた。</p>	<p>準備物（運動用具）、 ・鉄棒、マット、ボール、跳び箱、バラバルーン 環境設定 ・夏場の活動は子供たちの熱中症に注意し暑さ指数が高い時には冷房の効いたホールで活動するなど、子供たちの体調に配慮し、活動するのに安全な環境を用意した 子どもの様子 ・クラス対抗リレーやドッジボール大会ではクラスメイトを応援し合う姿が見られた</p>
振り返り	<p>・指導のすべてをティーチング型にするのではなく、基礎ができてきたら自分たちのグループで自主練習させることで、友達同士で教えあったり対抗心を燃やしたり一生懸命取り組めてよかった ・子供たちの出来ること・出来ないこと、理解状況をよく把握して現状のレベルに合わせて目標を設定することでスムーズに活動できた</p>	<p>・ネイティブスピーカーの専門講師が盛り上げ上手なので、子供たちは遊びの延長線上で楽しみながらレッスンが出来ている。高めのテンションで対応することは大事だと感じた ・普段、制作が苦手な子供でも、ハロウィンなど楽しみな行事には期待を持って取り組むことができる。日ごろの制作でもより子供が興味・関心を持てるようなモチーフにできるとよい</p>	<p>・リレーではAチーム、Bチームを子供も職員もすぐに分かりやすい様、色別のビブスを着ることにしたが視覚的に区別がつけやすく改善して良かった ・普段おとなしい子供でもクラスで団結して戦う大会になると気合が入り、いつもとは違う一面が見られた ・リズム体操では上手な子に前に出てきてもらって子供がお手本となることで、より動きが分かりやすく伝わった。また子供たちの意欲も沸いた。</p>

令和6年度に始まったばかりの「とうきょうすくわくプログラム」ですが、今後も継続して取り組む予定です。お子様がいろいろな体験をすることから生まれる気づきや想いを大切に、新しい取り組みにもどんどんチャレンジしていきたいと考えています。府中ひばり幼稚園の令和7年度の取り組みも楽しみにしてください。